

屏風の下張りから長谷川家に関する古文書が!

令和5年7月、江戸時代より伊勢で神宮の護符づくりに携わっていた湊家(註1)伝来の屏風の下張り文書を株式会社 湊様よりご寄贈いただきました。

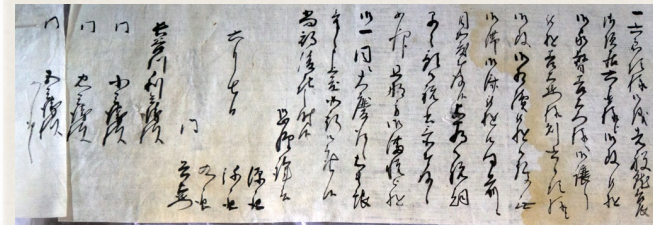
「下張り文書」とは、屏風や襖を補強するため、表面に張られた絵画や書などの下に何層にもわたって張り重ねられた紙のことです。かつて、紙は大変貴重なものであったため、下張りには不要になった紙が使われました。しかし、下張りに使用した紙は当時の人にとっては不要な紙であったかもしれませんが、現在では、重要な歴史的資料となりうる可能性を秘めています。今回寄贈いただいた下張り文書の中には、長谷川次郎兵衛家(註2)の分家に関する文書が、数多く確認できました。ここでは、その中の1点をご紹介します。

【写真1】は、源兵衛他3名が連名で長谷川利兵衛他3名へ宛てた書簡の断片です。その内容は、「六郎次様御儀先般就吉辰御隠居、六兵衛様と御改被遊、御家督善右衛門様へ御譲り被遊、善右衛門様則六郎次様と御改御相続被遊」とあり、長谷川次郎兵衛家の分家長谷川六郎次家(西家、屋号:戎屋)の「六兵衛」(六郎次家2代邦慶の隠居後の名)が「善右衛門」(同家3代邦教の幼名)に家督を相続した際のことと記されています。また、文書の続きには、「旦那方御満悦被遊、御一同二大慶存候」とあることから、一同お祝いムードだった様子もうかがえます。

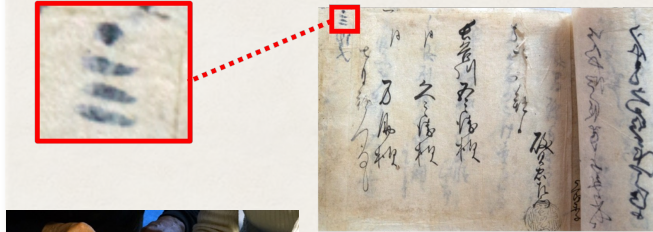
この他にも、寄贈いただいた下張り文書には、長谷川家に関する文書の断片がたくさん使われています。

【写真2】のように、長谷川次郎兵衛家の分家長谷川武右衛門家(南家、屋号:亀屋)の家印(商標)が記された下張り文書がいくつか確認できます。こうした文書を丁寧に解読することで、長谷川家の新たな一面を知ることができるかもしれません。(学芸員 扇野)

【写真1】



【写真2】



【参考写真】

下張り文書を剥がす様子

註1：現在は、株式会社湊として全国の寺社仏閣へ御札やお守りなどを供給している。

註2：長谷川治郎兵衛家は、9代元熙(1820~1874)まで長谷川「次」郎兵衛と称していたため、本稿では次郎兵衛と表記する。

歴史文化3施設のご案内

【開館時間】

9：00～17：00(16：30までにご入館ください)
12月8日～10日は、19：30まで開館しています。
(19:00までにご入館ください)

【休館】

水曜日(祝日の場合は翌平日) / 年末・年始
※11/15(水)と11/22(水)は開館します。

【連絡先】

- ◆旧長谷川治郎兵衛家
Phone：0598-21-8600
- ◆旧小津清左衛門家
Phone：0598-21-4331
- ◆原田二郎旧宅
Phone：0598-23-1656

発行 NPO法人松阪歴史文化舎
〒515-0082 松阪市魚町1653
Phone: 0598-21-8600 (事務所)
E-mail info@rekishibunkasha.onmicrosoft.com
HP https://matsusaka-rekibun.com/



風宮秋雨之図 磯部百麟 画(長谷川家旧蔵)

今年の夏はほんとうに暑い日々が続きましたが、いよいよ季節も涼しい風が吹く秋になってまいりました。

秋というと、読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋といろいろと秋を修飾することばがありますが、私たちにとっては、「イベントの秋」ですね。

今年は、皆さんに松阪の歴史文化や自然を知っていただきたく、たくさんのイベントを計画していますので、ぜひご家族、ご友人といっしょに参加していただき、歴史ある松阪をお楽しみください。



風日祈宮(伊勢神宮内宮別宮)

今回の展示のみどころ!

旧長谷川治郎兵衛家

開館5周年記念展 長谷川家の名品

令和5年10月10日(火)～令和6年1月7日(日)

旧長谷川治郎兵衛家は、本年度で開館してから5周年を迎えました。これを記念して、本企画展では長谷川家伝来の歴史的資料、生活道具、美術品などから選りすぐりの貴重な品々を展示します。多種多様な資料から、長谷川家の繁栄ぶりに思いを馳せていただければ幸いです。

【学芸員による展示解説】
11/4(土)、12/2(土)の午前11時より20分程度



【梅鉢紋入秋草蒔絵行器】

祝い事の際に赤飯や菓子などの品を詰めて他所へ持ち運ぶための容器。蓋表には長谷川家の梅鉢紋を蒔絵で表している。

旧小津清左衛門家

松阪商人と茶の湯

令和5年10月31日(火)～令和6年2月4日(日)

松阪城下に居住する小津清左衛門や長谷川治郎兵衛といった江戸店持ちの商人たちは、日常的に茶の湯を楽しみました。本企画展では、小津家や長谷川家を中心とした商家伝来の茶会記、茶道具などを展示し、商人たちの茶の湯文化をご紹介します。

【学芸員による展示解説】
11/11(土)、1/13(土)の午前11時より20分程度



【密算箱】

茶の湯の秘伝書などを入れておくための箱で、密算箱の蓋表には、裏千家9代不見齋の花押が直書されている。

原田二郎旧宅

原田二郎母の生家 田中彦左衛門家

～ 令和5年12月17日(日)

原田二郎の母ぢうは、飯高町波瀬の田中彦左衛門家の出身です。田中家は、代々農業や酒造業などを営むかたわら、和歌山街道波瀬宿の脇本陣や紀州藩地土を務めました。近代以降は林業を営み、今日まで存続されています。本企画展では、田中家に残る資料を展示し、原田家ゆかりの田中彦左衛門家をご紹介します。



【田中家住宅主屋】

田中家住宅は国登録有形文化財に登録されており、現在は「田中家資料館」として開館している。

【学芸員による展示解説】
10/28(土)の午前11時より15分程度

※次回展示予定 松阪に出された御触書(仮題) 令和5年12/19(火)～



秋のイベントカレンダー～

10月

- ◆ 1日(日) 15日(日) 29日(日) 10:00～14:00 甲冑体験 はらだ
手作りの甲冑を着て、写真撮影や松坂城跡までの道を散策できます。500円
- ◆ 15日(日) 13:30～15:00(開場13:00) 旧家で聴こう秋の朗読 はせがわ
大人も子どもも楽しめる名作文学を松阪お話しキャラバンが朗読します。(入館料のみ必要)

11月

- ◆ 3日(祝) 10:00～15:00 氏郷市民茶会 はせがわ おつ ポケットパーク
千利休と氏郷を偲び、侘びのころを体験します。ポケットパークでは子ども茶会が行われます。各500円、子ども茶会300円(この日は氏郷まつり。入館料は無料になります。)
- ◆ 5日(日) 18:00～19:00(開場17:45) 旧家で聴こう!蓄音機コンサート はせがわ
蓄音機から流れる味わい深い音色を長谷川家で楽しみませんか!? (入館料のみ必要)
- ◆ 11日(土)～26日(日) 松阪カルチャー ストリート はせがわ おつ はらだ その他
豪商の旧宅で芸術に触れよう!芸術作品を展示し、松阪の魅力を芸術で再発見し楽しむイベントです。
▶詳しくは…松阪カルチャーセンター実行委員会(Tel. 0598-21-0603 松本紙店)
▶なお初日の11日(土)は、原田二郎旧宅で「お茶のおもてなし」をしております。



蓄音機コンサート
申し込みQR

12月

- ◆ 8日(金) 9日(土) 10日(日)～19:30 ナイトウォーク はせがわ
ライトアップされた紅葉の庭園など昼間とは違う静謐な長谷川邸の佇まいをお楽しみいただけます。



「ちびっ子商人塾」開講しました

今年、三井越後屋が創業して350年にあたります。それを記念して、8月5日に松阪三井家当主(三井高輝氏)、8月21日に長谷川南家当主(長谷川隆氏)をお招きし、豪商のまち松阪 観光交流センターで様々なお話をいただきました。

参加してくれた子どもたちは文化財の魅力や社会のあり方を楽しく学んでいました!



松阪歴史文化舎友の会に参加しませんか?

松阪歴史文化舎友の会は、今年に誕生した新しい会です。会員には、松阪歴史文化舎が独自に行う講座・イベント等のご案内及び参加費等の割引や独自に発行・販売する書籍等の購入割引の特典があります。地域の歴史文化に興味のある方、ぜひご入会ください。

入会金、年会費はそれぞれ、500円 と 1,000円です。

お申込は、事務局まで

